

第十二回「新公会計制度普及促進連絡会議」 議事要旨

【開催日等】

開催日：令和3年5月31日（月）から令和3年6月14日（月）まで

開催方法：国内における新型コロナウイルス感染症の情勢を踏まえ、メールによる協議をもって会議の開催とした。

参加団体：東京都、大阪府、新潟県、愛知県、町田市、大阪市、江戸川区、吹田市、郡山市、荒川区、福生市、八王子市、中央区、世田谷区、品川区、渋谷区、板橋区

オブザーバー：習志野市

【議決事項】

会議では、以下のとおり協議や意見交換が行われた。

- (1) 令和3年度新公会計制度推進イベントの動画による実施について
- (2) 連絡会議検討部会の継続について
- (3) その他次第に関する意見等

(1) 令和3年度新公会計制度推進イベントの動画による実施について

今回の実施方法について協議し、承認された。

(2) 連絡会議検討部会の継続について

(資料5に基づき東京都より説明)

「自治体間比較」と「事業別分析」の2部会からなる「検討部会」について、資料5に基づき継続を提案し、承認された。

また、各部会の研究事項や今後のスケジュールについて、資料5に基づき説明した。

(3) その他次第に関する意見等

- ・ 検討部会の幹事は、新公会計制度の取り組みを研究する上で、貴重な経験となるため、参加自治体で回していくことで、制度の一層の活用推進が図られると考える。
- ・ 会計年度任用職員制度の開始に伴う賞与・退職給与引当金を計上するかどうかなど、どのような会計基準を設けるかどうかは各自治体の判断だが、今後は、普及促進という観点から自治体間・事業別比較をさらに進めていくためにも、制度改正などに対する会計基準上の取り扱いや計上方法について、東京都方式を採用している自治体間で対応状況を共有する必要があると考える。

【報告事項】

- (1) 令和2年度の活動報告及び令和3年度の活動予定について
- (2) 令和2年度新公会計制度推進イベントの開催結果について
- (3) 総務省の統一的な基準への対応状況等について
- (4) 連絡会議検討部会の報告について

(1) 構成団体の活動にかかる令和2年度の実績及び同3年度の予定について

(資料1に基づき各団体より報告)

照会・視察対応、講義等の「自治体間連携」に関する活動と、研修・説明会の実施、マニュアル整備、行政評価への利用及びシステム改修等の「自治体内の運用・活用」に関する活動について、令和2年度の実績や令和3年度の予定が報告された。

(2) 令和2年度新公会計制度推進イベントの開催結果について

(資料2に基づき東京都より報告)

令和2年11月24日より動画配信を行った「公会計推進ミーティング2020」について、ミーティング報告書に基づき開催結果を報告した。

(3) 総務省の統一的な基準への対応状況等について

(資料3に基づき各団体より報告)

多くの自治体からは、独自の会計基準に基づく財務諸表を継続して作成・公表していく一方、他団体との比較可能性等を考慮して、組替により統一的な基準にも対応する旨の報告がなされた。

また、課題として、資産の評価や基準の解釈に自治体ごとにばらつきがあり、自治体間比較が難しいことや、業務の継続性確保のため、統一的な基準に関する知識の共有・継承及び複数の財務諸表作成に伴う事務負担の軽減の必要性が挙げられた。

(4) 連絡会議検討部会の報告について

(「自治体間比較部会」の開催結果について、資料4-1に基づき東京都より報告)

令和2年度の取組について、資料4-1に基づき、自治体間比較部会における「財務指標による経年比較」及び「複数の指標を組み合わせた分析」の2つのテーマの検討結果を報告した。

(「事業別分析部会」の開催結果について、資料4-2に基づき江戸川区より報告)

令和2年度の取組について、資料4-2に基づき、事業別分析部会における検討結果を報告した。